

プログラム内容

2～3グループに分かれて以下のコースから選んで体験します



①少し昔の道具にさわってみよう

羽釜や炭火アイロン、黒電話など、少し昔の道具を見て、触れて、道具の使い方や暮らしの移り変わりを学びます。



②企画展見学

令和7年1月11日(土)から3月9日(日)の間には少し昔の道具の展示をご覧ください。

※期間外は常設展示室の見学となります。



③ガイドンスルーム見学

原始・古代から現代にいたる港区の移り変わりを、プロジェクションマッピングやタッチパネルをと紹介します。

※プロジェクションマッピングの見学人数目安は児童10名前後です。



④DVD鑑賞

昭和時代の炊飯の映像を通して、羽釜やかまどなどが、生活の中でどのように使われたのかを学びます。



※②～④はご希望により選択いただけます。

※60人をこえる場合は3グループに分かれての体験となります。

※90人をこえる場合は2回に分けてのご来館をお願いしております。

※これは参考プログラムです。授業内容や時間、人数に合わせて対応しますので、事前にご相談ください。

スケジュール例

2グループ見学の例 ※60人前後まで

めやす時間：約60分

グループ	～約10分	約20分	約20分	～約10分
1	ガイダンス	道具にさわる	企画展見学	終了ガイダンス
2	(前庭)	企画展見学	道具にさわる	(前庭)

3グループ見学の例 ※60～90人

めやす時間：約90分

グループ	～約10分	約10分	約10分	約10分	～約10分
1	ガイダンス (前庭)	道具にさわる	DVD鑑賞	企画展見学	終了ガイダンス (前庭)
2		企画展見学	道具にさわる	DVD鑑賞	
3		DVD鑑賞	企画展見学	道具にさわる	

※見学スケジュールの例です。コースはご希望により選択いただけます。

注意事項

- 児童の持ち物
 - ・調査シートなどを使う場合、書くための画板・バインダー類
 - ・鉛筆(色鉛筆・シャープペンシル・ボールペンの使用は、先生もご遠慮ください)
- 先生方へ
 - ・見学にあたっては、事前にご来館の上、打ち合わせをお願いします。
 - ・歴史館内でのフラッシュを焚いての写真撮影、動画撮影はご遠慮ください(写真撮影は一部を除き可能です)。
 - ・歴史館の職員も各児童に対し注意を払ってはおりますが、対応人数、また説明を行っている都合上全体に目が行き届かない場合がございます。先生方にも、プログラムを通して児童全体に目配りいただきますようお願い申し上げます。
 - ・児童のお手洗いの時間は含まれておりません。飲み物の補給は1か所のみとなります。



申込方法

ご希望見学日の前々月末までに郷土歴史館ホームページ内フォーム、またはFAX(添付の受付票)にてお申込みください。5開館日以内に当館から内容確認のご連絡をいたします。

郷土歴史館ホームページ内フォーム

(団体見学ページ下、学校見学でのご利用案内ページ内)
<https://www.minato-rekishu.com/group/school.html>



または

郷土歴史館FAX

(03) 6450-2137